

### やっと叶ったツル夫婦の願い

+

#### ベツル第一陣4羽渡来

去る10月26日15時03分、去年より1日早く3羽（成鳥2幼鳥1）1家族と成長1羽の4羽が渡来しました。平成20年の4羽から、7、8羽と微増はしているものの、いつ0羽になってもおかしくない不穏な状況下で、今年最初のツルを見た時は「やっぱり八代を忘れずに来てくれた。」と、まず安心しました。

気象台の天気予報では寒気が南下し、この秋一番の寒さになることが報道され、八代では前日朝の15℃から4℃に下がり渡来を期待していた時でした。通例では夜間ねぐらに来て朝の6時代にねぐらから出現して見られることが多かったのですが、今回は西の上空から直接監視所前の湛水田に降りました。

しかし、翌日10時20分成鳥1羽が3羽の家族に追われて八代から姿を消してしまいました。1羽でも多く来て欲しいのにツルがツルを追い出すとは本当に残念です。

#### 11月6日第二陣2羽渡来

これでは最低記録を更新するのでは、と思っていましたが11月6日7時58分、2羽のツルが渡来しこれで最低記録にならなくなり安心しました。よく見ると最近では珍しく事故が何かで親の1羽がいなくなった親子でした。やはり3羽のツルに追われましたが監視所裏、県道の北側の田んぼに落ち着いているようです。

#### 11月27日第三陣1羽渡来

8時15分1羽のツルが渡来し、八代の上空で2羽と出会い仲良く3羽が降り立ちました。よく見ると第2陣の親子ツルの家族でした。どこで何をしていたかツル夫婦が20日間も離れていることは珍しいことです。ツル夫婦も会えてよかったし、八代のツルも増えて良かったです。これで渡来数は6羽になりました。

写真 10月26日渡来した4羽 提供 則守進さん

岡南市ツル保護研究員 河村宜樹

6・6・9・6・6・6・9・6・6・9・6・6・6・9・6・6・9・6・6・9・6・6・9・6・6・9

### 漫画家 **なかはらかせむ** から 八代へのメッセージ! No.19

「生きものと人・共生の里を考えるシンポジウム」が開催された。今回は出水、豊岡、佐渡、周南の子どもたちと、韓国からの子どもたち、そして子どもラムサールの仲間を迎えての元気いっぱいシンポジウムとなった。集まった子どもたちすべてが、八代盆地を散策して「八代の宝物」を探すのがテーマであり、課題だ！「ツルの墓」や「ツルと自然」「ツルを守る人」や「歴史」など、たくさんの宝物が子どもたちから発表された。その中に「八代小学校」を宝物としてあげた子どもたちがいた。ツルだらけの小学校、そこには見守る気持ちや歴史、自然保護などすべてがこの小学校にあるというのが理由だ。なんと素晴らしい見方だろうか。心から感動した。八代小の子どもたちがぽつりと言った「ふつうの小学校なのに…」そう！ふつうにそばにある、実は宝物とはそんなものなのかもしれない。



# 特集

## 生きもの与人・共生の里を考える

未来につなごう

トキ・コウノトリ・ツルと子どもたち

11/19<sub>土</sub>

外国学者による講演

李 宇新

Dr. Lee, Woo-Shin

ソウル大学教授

# シンポジウム

開催

15:30~16:45

ツルミニフォーラム 韓国と日本のツルの状況

場所

鶴いこいの里交流センター

- ツルミニフォーラム ..... 15:30~16:45

### 「韓国のツルの状況と渡り鳥について」

国立ソウル大学教授 李 宇新 Dr. Lee, Woo-Shin

国立ソウル大学教授・ソウル大学演習林所長、北海道大学農学部博士課程修了。

韓国政府森林研究所野生生物官吏課勤務を経て、ソウル大学教授。

日韓渡り鳥条約の履行、渡りのルート上の野鳥の保護などに尽力。とくにツル研究は氏のライフワーク。

### 「順天湾のナベヅルと人々の共生」

順天湾自然生態公園職員 金 忍鐵 Mr. Kim, Incheol

順천시 順天湾運営課 順天湾自然生態公園勤務

### 「今年のツルの渡来状況について」

周南市ツル保護研究員 河村 宜樹

山口県生まれ。山口大学を卒業後、中学校教諭となる。1957年に八代中学校教諭となりナベヅルの観察を開始。山階鳥類研究所所報に研究報告を発表しているほか、ナベヅルの書籍出版、国際ツル学会に出席、発表するなど精力的に八代のツルの研究に取り組んでいる。現在、周南市ツル保護研究員としてツルの調査・保護・研究に取り組んでいる。

### 「八代と鹿児島県出水のナベヅルについて」

周南市ツル保護協議会委員 西田 智

岡山県生まれ。北九州大学卒業後、福岡県にて英語の教鞭をとり、社会教育主事、教頭、校長を歴任し2001年退職。現在は、北九州工業高等専門学校非常勤講師。

大学在学中より北九州市立大学の故・古賀一夫教授に指導を受け鳥類研究を開始。1959年より始めた鹿児島県出水市や周南市八代におけるツルの研究は、ライフ・ワークと位置づけ、熱心に調査を続けている。

- 円卓会議 ..... 17:40~

### 「これからの鳥類の保護・分散について」

関係者のみ参加

座長：山階鳥類研究所 所長 林 良博

参加者：国立ソウル大学教授 李 宇新

環境省 文化庁 農林水産省 国土交通省

佐渡市長 豊岡市長 出水市長 周南市長

# 生きもの与人・共生の里を考えるシンポジウム日程

- 開 場 ..... 8 : 30
- 1 開 会 ..... 9 : 00
  - 開会のあいさつ 周南市長 木村 健一郎
  - 来賓のあいさつ 環 境 省 亀澤 玲治
  - 山口県知事 二井 関成
- 2 表彰及び感謝状授与式
  - シンボルマーク受賞者表彰 講評：なかはら かぜ
  - 感謝状贈呈 アサヒビール株式会社
- 3 特別公演 ..... 9 : 30



「動物の鳴き真似を通じて“自然の大切さ”について」  
四代目 江戸家 猫八

## 【プロフィール】

1949年 東京生まれ  
1959年 テレビ初出演  
1968年 玉川学園卒業 父・猫八に付いて修業  
1972年 落語協会に加入 寄席に出演  
1981年 放送演芸大賞受賞  
1990年 ベストファーザー賞受賞  
2004年 文化庁芸術祭優秀賞受賞  
2009年 四代目江戸家猫八 襲名

## 【今までに出演した主な番組】

「素人民謡名人戦」「小猫話題にアタック」(フジテレビ)  
「ゲーム王国」(テレビ東京)  
「おもしろ漢字ミニ字典」(NHK) などにレギュラー出演  
「笑いが一番」(NHK)「真打競演」(NHK ラジオ)  
映画「かあちゃん」(市川崑監督) などにゲスト出演  
現在、「文化」「健康」「環境」などを  
テーマに全国で講演活動中

- 4 アトラクション ..... 10 : 05

### 「つるの舞」 八代小学校児童

古くから八代に受け継がれてきたこの「舞」は、大正8年ごろから毎年踊られてきました。伝統ある「つるの舞い」を受け継いでいくため、八代小学校全学年の女子児童が練習を重ねてきました。美しいつるの姿を思い浮かべながら、ご覧ください。

- 5 生きもの与人・共生の里を考える 子ども公開シンポジウム ..... 10 : 15

- ・ 児童による市長紹介
- ・ 市長による市概要の紹介
- ・ 事例発表

「トキの保護活動について」

新潟県佐渡市・佐渡 Kids 生きもの調査隊

「コウノトリの保護活動について」

兵庫県豊岡市・コウノトリ KIDS クラブ

「ツルの保護活動について」

鹿児島県出水市・荘中学校

「ツルの保護活動について」

鹿児島県出水市・高尾野中学校

「ナベツルの保護活動について」

山口県周南市・八代小学校

「韓国の保護活動について」

韓国・順天の子どもたち

「わたしたちの活動について」

KODOMO ラムサールの子どもたち

- 6 公開子ども討論会 ..... 11 : 30

「生きものとの共生するために私たちができること」

- 7 周南市長へ贈呈 ..... 12 : 45

- 8 閉 会

総合司会 徳本 恵子

(元 KRY 山口放送アナウンサー)